

事業所名

もーと

支援プログラム

作成日

令和7 年

3 月

20 日

法人（事業所）理念		「ご本人には地域で暮らすための支援を」「ご家族には地域で暮らすための安心を」「地域には多様な人々と暮らす喜びを」この3本柱のもと障害のある方の地域生活を支援します。							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ◆学校と自宅の間の温かなクッションのような場（学校での頑張りを認め、自宅にストレスを持ち越さないための過ごし場）を目指します。 ◆自由な過ごしの中で、自然に発生する関わりやあそびを大切に、卒業後も必要な集団における生活スキルの獲得を丁寧に支援します。 							
営業時間		平日	13 時	30 分	から	18 時	30 分	送迎実施の有無	○あり なし
		休日	9 時	0 分	から	17 時	0 分		
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ■心身の健康状態の把握：受け入れ時の検温をはじめ、支援中の健康観察を行います。 ■身辺自立についての支援：食事・排泄・更衣など、生活に必要な基本的技能の獲得と向上を目指します。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ■音楽等を取り入れた運動活動：音楽を聴きながらの運動やエアトランポリン・パラバルーンを取り入れた運動を行い、楽しく全身の筋力や柔軟性を養います。 ■姿勢や動作の向上：姿勢保持椅子の活用や足台を活用しての座位姿勢保持に取り組み、日常的な動きの中での身体能力の機能維持・向上を目指します。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ■視覚支援等の活用：写真等の提示や、キッチンタイマーを使用して、スケジュールや時間の認知を支援します。 ■空間の切り分けによる支援：個室の活用により、静かにしたい時と活発に活動したい時など行動の活動性に合わせた場を提供します。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■言語コミュニケーションの基礎的能力の獲得・向上：他者との関わりにおける適切なやりとりを支援します。 ■非言語コミュニケーションの活用：認知と生活状況に合わせて写真やサインにおけるやりとりを支援します。 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ■社会性の向上：社会的場面でのルールやマナーを経験し、場面に合わせた行動の獲得を支援します。（外出活動など） ■他者との関わり向上：日常的な過ごしの中で、自然に発生する他者との関わりを大事にして関係形成を支援します。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ■毎日の引継ぎで細やかな様子の伝達を行い、ご家庭の状況と合わせて対応するように努め、定期的に相談の機会を持ちます。 ■ご家族のレスパイト等により延長の対応を行います。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ■法人内連携を強化し、実習時などには情報共有に務めます。 ■卒後の事業所や、入学前の保育園等と情報連携します。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ■他の併用事業所と情報を取り合い、連携して支援します。 ■外出活動や散歩等、地域へ出て社会参加を支援します。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ■身体拘束、虐待防止、感染症対策、緊急時対応の研修を行います。 ■事業所内でのケース検討を行います。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ■毎月のイベント：外出活動（買い物体験等）、制作活動、調理活動など ■避難訓練の実施（毎月） 							